

新年
特集号

自治労福島

自治労福島県本部機関紙

E-mail:chousa@jichiro-fukushima.or.jp

第820号
2021年(令和3年)
1月15日
福島市荒町1-21
自治労福島県本部
発行人 志賀一幸

家庭版

機関紙は読んだら家庭へ

謹賀新年

WINTERNAUTUMNSUMMERONNIS SPRINGEARS/AUTUMNUEINIA WINTERNAUTUM

あけましておめでとうございます。新年にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。組合員とご家族の皆様におかれましては、つつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、新たな日常・新しい生活様式の中、常に感染の不安に駆られながらも質の高い公共サービスを提供するため、ご奮闘頂いていることに改めて敬意と感謝を申し上げます。そして一日も早い終息を願うばかりです。

また、会津坂下町議会議員、いわき市議会議員、飯館村長、国見町長選において、当該単組・総支部を中心に全県的な取り組みがされました。重ねてお礼を申し上げます。

さて、政治に目を向ければ、昨年9月16日に安倍内閣が総辞職し、同日招集の臨時国会で菅前官房長官が第99代首相に選出されました。第二次安倍政権の在任期間が史上最長の7年8か月におよび、その間に秘密保護法、安保関連法、共謀罪法などの反動的な立法を強引に成立させ、また森友・加計・桜を見る会など、露骨な利益誘導やスキャンダルも明らかになりました。安倍政権の継承を明言した菅首相は、森友問題の再調査拒否、日本学術会議に係る任命拒否など、有無を言わせない強権的政治を繰り返しています。

一方、9月15日、立憲民主党と国民民主党が合流し、新・立憲民主党を結党、社会民主党も11月14日臨時大会で「社民党を残す・合流する(案)」が可決され、社民党福島県連合も2021年1月30日の臨時大会で立憲民主党への合流が確認されます。

次期総選挙では、野党勢力を強力に拡大することにより、コロナ禍の弱者への打撃を緩和、格差の解消や貧困化を食い止めるため、国民不在の政治から真の国民主権の政治に代えるため、政権交代を実現しなければなりません。県内各自治体等における職場環境の実態は、コロナ禍の影響により負担が拡大しています。人員不足は深刻な課題であり、人員の確保や労働安全衛生活動の活性化など、労働者の視点での働き方改革を取り組むことが必要不可欠となっております。

また昨年は、10年ぶりに一時金が削減され、この間の自然災害や新型コロナウイルスへの対応など、奮闘する組合員の士気の低下につながるものとなりました。

今年も厳しい一年となることを想定しながらも、現場で懸命に職務に従事している組合員の実態を訴え、適正な勤務条件、処遇の改善をめざして参ります。結びに、2021春闘、確定期闘争勝利、諸課題の改善のため、全組合員のさらなる結束をお願い申し上げます。念頭のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願いたします。



自治労福島県本部
中央執行委員長
志賀 一幸



WINTERNAUTUMNSUMMERONNIS SPRINGEARS/AUTUMNUEINIA WINTERNAUTUM

東日本大震災・原発事故から10年 被災自治体の復興・再生の状況と課題



大川原復興拠点の様子

当町は、全町避難から8年が経過した2019年4月に町内の一部が避難指示解除されました。その中で、大川原地区を復興拠点と位置づけ、役場新庁舎が建設され、町内での業務を再開することができました。また、復興公営住宅や認知症高齢者グループホームなどが建設され、今後も、商業施設や交流施設、温浴・宿泊施設さらには、認定こども園と小中一貫の教育施設の建設も予定されています。未だに帰還困難区域となっている町の中心部も、特定復興再生拠点区域として2022年度中の避難指示解除が予定されています。



菅原執行委員長

大熊町職労

東日本大震災・福島第一原発事故から10年が経過するが、避難者数は20年10月末現在3万6,900人といまだ多くの県民が避難生活を余儀なくされている。また、14年から順次、帰還困難区域を除く、居住制限区域および避難指示解除準備区域の避難指示が解除されたが、7市町村の一部または全域で、帰還困難区域による避難指示が継続している。避難指示が解除された地域では、医療・介護、買い物などのインフラの整備が進んでおらず、原発・放射線に対する不安もあり住民の帰還も進んでいない。今回、10年が経過する被災自治体の現状や課題・問題を発信し共有化するため、5単組から寄稿いただいた。

で、住民の帰還と、復興業務の増加による職員不足が課題となっております。我々労働組合としては、この二つの課題に向き合いながら、組合員同士が一致団結し、今後も頑張っていきたいと思っております。

飯館村職労



今野執行委員長

新年あけましておめでとうございます。飯館村は、2017年3月31日に一部地域を除いて避難指示が解除され、2020年12月1日時点では、震災時の村内人口(6,509人)のおよそ23%にあたる1,486人が村内に居住しています。

また、昨年10月には飯館村長選挙が執行され、杉岡誠新村長のもとでの新たな村政がスタートしました。村長からは、これから目指すべきビジョンとして「明日が待ち遠しくなるような、わくわくする楽しいふるさと」が示されたところであり、基幹産業である農業や生業の再生、交通や買い物、医療福祉等の生活環境の充実、地域のコミュニティの再生、活性化等の課題について、村民と村職員がともに知恵を絞り、様々な方向性や手段を探りながら日々取り組んでいるところです。

1. 状況
自治労南相馬市職員労働組合は、2006年に1市2町(原町市、鹿島町、小高町)が合併し南相馬市となったことに伴い、1市2町それぞれ在った職員労働組合を1つに合併し誕生した単組となります。また、東日本大震災による地震・津波とそれに伴う原発事故による被害にも見舞われ、震災から10年が経過する今でも膨大な復興業務における必要職員数に



山田執行委員長

南相馬市職労



多目的交流広場「ふかや風の子広場」(2020年8月オープン)

自治労福島県本部をはじめ、多くの単組からの多大なる支援をいただいた結果であります。この場をお借りして深く感謝申し上げます。現在、復興業務に加え、コロナウイルス対策業務も加わり、一段と厳しい状況が続いておりますが、組合員一丸となり、本町の明るい未来に向けて邁進してまいります。



2020年春にフルオープンした福島ロボットテストフィールド
陸海空で活躍するフィールドロボットの一大研究開発拠点

2. 課題
(1) 合併に伴う1市2町の職員の賃金調整の一部未実施
1市2町にて合併する際の賃金調整について段階的に実施することとなっていたが、当局側からのラス指数の上昇を理由に途中で中止となっている。
(2) 高卒・大卒初任給の低さ
現在、高卒・大卒初任給ともに県職より4号給下の給与格付へとなっており、有望な人材が集まらない一因となっている。

東日本大震災と福島第一原子力発電所事故から、避難先で10回目の新年を迎えました。双葉町は、未だ全町民が避難をしており、役場も県内外6か所に支所と連絡所を設置しています。町内では家屋の解体が進み、震災前には想像しえなかった景色が広がっています。昨年は、町内の一部区域の避難指示が解除され、特定復興再生拠点区域内の立入り規制が緩和されました。この措置に合わせ、双葉町役場コミュニケーションセンター連

(3) 組織機構改革による職員の仕事量の増加、市民サービスの質の低下
2019年4月に組織機構改革が行われたが、その後の組合員へのアンケート調査の結果、「仕事の手間が減った」との回答より「仕事の手間が増えた」との回答が圧倒的に多く、また市民の利便性としても低下している。

双葉町職労

高橋執行委員長



2020年10月1日に開所した町産業交流センター

絡所を開設し、およそ9年ぶりに町内での役場業務が再開されました。また、復興の先駆けとしてJR常磐線の再開通を初め、町産業交流センターや県のアーカイブ施設がオープンし、工業団地にも複数の企業が進出しており、少しずつではありますが復興が進んでいます。令和4年春頃には町民の帰還と、役場業務も町内で本格的に再開される予定で、通常業務に加え復興業務、更には帰還に伴う業務も重なり、職員を取り巻く環境は大変厳しい状況が続いています。





今まさに求められる「公」の力

全日本自治団体労働組合
中央執行委員長 **川本 淳**

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、まさに「新型コロナウイルス」対応に追われた1年となりました。昨年3月11日にWHOがパンデミックを宣言し、主要国は都市封鎖や外出規制などで拡大防止に努めたものの、いまだ世界的な感染者の増加に歯止めはかかっておりません。日本においても、収束のめどは見えないままです。

このような中、この間自治労組合員の皆さんは、地域医療や保健衛生をはじめ、清掃、学校、保育、介護、公共交通、消防などの現場、あるいは各種相談や給付の窓口業務などにおいても、住民の命と健康を守り、安定した生活基盤を保障するために、昼夜を問わず奮闘されてきました。改めて深い敬意と感謝の念を表明するものです。このたたかいはまだ続く見通しですが、それぞれの現場において引き続き奮闘しましょう。

今年3月11日は東北地方を中心に未曾有の被害をもたらした東日本大震災の発生から、丸10年となります。大災害は死者約1万9,000人、行方不明者約2,500人を出し、いまだ約5万人が避難生活を送っています。

以降も、全国各地で記録的な豪雨なども災害が頻発しています。各被災地の復興を祈念するとともに、今年こそ災害のない年であることを心から強く願います。

9月に就任した菅首相は、「自助・共助・公助」や規制緩和を政策理念としました。しかし、このような日本の現状を考えれば、今は、新自由主義的な弱者切り捨てではなく、セーフティネットとしての「公」の役割を、再度、構築していくことこそが求められていると言えます。

そのためにも、来るべき総選挙においては、自公政権に対抗する「中道・リベラル」勢力のさらなる強化が必要です。抜本的な政策転換を求める団体・市民と幅広く協力し合い、さらに本部・県本部・単組の連携を一層強めていかなければなりません。

全国の仲間の皆さんと一丸となり自治労への最大限の結集を呼び掛けたいと思います。ともに頑張りましょう。



葛尾村職労

菅野執行委員長

葛尾村は平成28年6月12日に避難指示解除（一部地域を除く）されましたが、令和2年11月1日時点で帰村率は25・7%にとどまっております。帰村者の多くは高齢者です。

そんな中、村では先祖代々育まれてきた「農と共にある暮らし」を取り戻すべく数々の施策を実施しており、徐々に営農再開の動きが見られています。特に、30代、40代の若手農業者が繁殖牛、乳牛、養鶏、肉用羊、花卉栽培等に挑戦するなど、震災前にはなかった取り組みが生まれています。



電子山を背景に、実る夏の稲穂。徐々に、「農のある風景」に戻りつつあります

対して人材の確保と事務量の平準化、そして適切な職場環境の確保について、現状を踏まえた対応を要求していきたいと考えています。

コロナに打ち勝ち、希望の持てる年に



参議院議員
吉田ただとも

新年おめでとうございます。昨年も大変お世話になりました。昨年は新型コロナウイルスが世界を席巻し

人類のあり方を大きく変えました。また米国大統領がトランプからバイデンに交代し、国際環境も大きく変わりつつあります。

国内では、安倍前政権を継承・推進すると表明した菅政権が、新自由主義路線の強化を目論み、厳しく対峙していきます。

参議院2期目の国会活動は、総務委員会と決算委員会を中心に、自治体職員の処遇改善・人員確保や地方財政の課題や地方自治体における新型コロナ対策、市町村合併や行政改革による問題点を具体的に取り上げてきました。皆様方と連携をはかりながら、困っている方々や現場で頑張っている方々の思いを国政にお届けする決意です。

今年必ず行われる衆議院解散・総選挙では、同志の勝利、政権交代への道筋を作るために皆様のお力を貸してください。

本年が皆様方にとりまして希望の持てる年になりますように祈念申し上げ、年頭のあいさつにさせていただきます。

組合員のみなさんの声を集め、国会に届けます



参議院議員
岸 まきこ

あけましておめでとうございます。

本来であれば、組合員のみなさんに直接お会いし、職場の課題を伺ったり、国政報告をしたかったのですが、新型コロナウイルス感染拡大の状況もあり、なかなか全国各地に伺うことができない状況にあります。

昨年の臨時国会は、新型コロナウイルス対策をはじめとする課題が山積しているにもかかわらず、会期延長をすることなく閉会してしまいました。残念ながら今の自公政権の圧倒的な数の力で押し切られてしまっている状況にあります。今年行われる衆議院選挙では、この状況を必ず転換しなければなりません。

このコロナ禍で、国が行うべき施策はたくさんあります。PCR検査体制の強化、逼迫した状況にある医療体制への支援、経済対策や生活支援など、野党が一丸となって政府に提案していきます。

住民と地域を支える公共サービス職場で働く組合員のみなさんの声を集め、引き続き国会に届けたいです。みなさんが安心してサービスを提供するための労働条件を改善していくことも私の役割の1つです。これからもみなさんとともに、頑張っていきます。

「スーパーメガリージョン構想」?



参議院議員
江崎 孝

あけましておめでとうございます。今年もしっかりがんばりますので、よろしくお祈りします。新型コロナウイルス感染症対策で各

現場で対応にあたられている皆さん、本当にありがとうございます。心から感謝いたします。

気候変動が世界的課題です。その一つに車社会のあり方も議論されています。電気へ水素へと技術革新の期待は大きい一方で、日本では人口が減り車も物流も人の移動も減っていきます。しかし、国では「スーパーメガリージョン構想」や「重要物流道路」、あるいは「新広域道路ネットワーク」といった新たな道路計画が脈々とつくられているのをご存知でしょうか。これに加え国土強靱化です。高速道路のような高規格道路の整備が災害に備えて重要といった議論になっています。

昨年からのコロナの感染拡大は人間の活動のあり方そのものに警鐘をならしたわけですが、政治と行政はそんなこと無視して回転し続けています。今年こそは、「ん〜もお〜（牛の鳴き方とかけています。）たくさんだ」と政治変革を実現する年にしましょう。そして一日も早いコロナ禍の解消を！

総合共済

団体生命共済

長期共済
税制適格年金

じちろう
こども保障満期金付
タイプ

住まいる共済
火災共済・自然災害共済

じちろう
マイカー共済

組合員の皆さんに
充実した内容の共済を
提供いたします

じちろう共済

不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください

こくみん共済coop 全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済 推進本部
全日本自治体労働者共済生活協同組合

※契約にあたってはパンフレットをご覧ください。
【こくみん共済 coop】は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

新春お年玉クイズ

					D		
1	2	4	6		8		
A							
12					13		10
		C					
		14			7		
15	B						
	3				16		
17							
			18				11
19					E		
		5		20		9	
							F
21							22

■問題
タテのカギ、ヨコのカギをつないでパズルを完成させてください。AからFまでの6つの枠に入った文字を並べると答え(言葉)になります。

クイズの答え

--	--	--	--	--	--	--	--

抽選で豪華景品が当たる!

- 自治労福島県本部賞
商品券5万円分 2本
- こくみん共済coop全労済自治労共済賞
カタログギフト5千円相当 10本
- 東北労金福島県本部賞
カタログギフト1万円相当 2本
- こくみん共済coop福島推進本部賞
図書カード5千円 4本
- 自治労福島県本部お年玉賞
クオカード千円 30本

タテのカギ

- 1 ⇨下り列車
- 2 何も持っていない手
- 3 心の中に浮かべる像
- 4 油断○○○○
- 5 ○○と言えばかあ
- 6 根源
- 7 駅への入口
- 8 アリが集まるアブラムシ
- 9 ⇨往
- 10 ⇨上記
- 11 ○○○万丈

ヨコのカギ

- 1 郷愁
- 12 からだ
- 13 ⇨文科
- 14 マグロの巻きずし
- 15 冷え冷えとした空気
- 16 人生○○に感ず
- 17 指先の角質の形成物
- 18 アンブレラ
- 19 敷布
- 20 氷柱
- 21 野次馬
- 22 ⇨アウト

ネ・ウシ・トラと続く十二支とは元来、作物が種(子)から結実(亥核)するまでの期間を12に分けたのが始まり。やがて次第に当初の意味が忘れられて一区を1年とするようになり、12年かかって一回りする現在の形に変わっていった。



十二支の由来

正月の風習

やがて月や時を数える数詞などにも用いられていく。ならば、十二支の動物は、どうして決まったのか、という疑問が沸く。「元日の朝、新年の挨拶に来い。一番早く来た者から十二番目の者までは、順にそれぞれ一年の間、動物の大将にする」と神が言ったとか。干支を使う国はいくつもあるが、登場する動物もよく似ている。

応募方法

- ハガキに、①クイズの答え
②単組名(県職は支部名)
③職場名
④氏名
を明記してご応募ください。
※住所不要。景品は単組にお渡しします。
- 応募先 〒960-8042 福島市荒町1-21
自治労福島県本部
- 締切 2月10日(水) 消印有効

こくみん共済 NEWS
5120V186

総合共済

長期共済

マイカー共済

住みいる共済

子ども保障満期金付タイプ

今年も
おさまりきらない
充実の保障を
みなさまに。

団体生命共済

税制適格年金

自賠償共済

介護保障

不明な点があれば、まず組合にご連絡ください

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

契約にあたってはパンフレットをご覧ください。

こくみん共済(全労済) 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済 推進本部 全日本自治体労働者共済生活協同組合